

カスタネット

Vol. **49**
2025.3

高堂建設株式会社



【特集】

全ての人が輝く職場 ～活躍を後押しする企業の取り組み～

令和6年1月に十勝管内企業初「えるぼし認定※」を取得した高堂建設株式会社取材しました！

【記事】 男女共同参画講座レポート
第23回「女(ひと)と男(ひと)の一行詩」入賞作品

<1段階目>



<2段階目>



<3段階目>



※ えるぼし認定

女性の活躍推進に関する取組状況が優良である等一定の要件を満たした場合に、厚生労働大臣の認定を受けることができる制度。商品や広告、求人票等に認定マークを付することができるほか、公共調達において加点評価を受けることができる。

「カスタネット」とは…2枚の丸い木が合わさり音が出る楽器から、女性と男性が共に歩むイメージを表現したものです。

高堂建設株式会社

会社情報
所在地：帯広市東1条南16丁目15
事業内容：建設業
社員数：99名（うち女性14名）



代表取締役社長
高堂 匠美 氏



女性活躍推進 の主な取組

- ・子育てに必要な部分についての休暇の取得承認
- ・子育てしている社員等の時間外勤務、深夜勤務の制限
- ・育児休業給付金、子ども手当の支給
- ・近隣保育所との連携による枠確保
- ・保育料の半額補助
- ・現場での男女別トイレの設置

Q 女性の活躍促進に取り組むようになったきっかけを教えてください。

女性に限らず退職者が多かった時代があり、給与面はもちろんのこと、福利厚生で何かやれることはないのか考え始めたのがきっかけでした。安心して働いてもらえる、そして病気でリタイアすることがないように、そういったことを考えて取り組んできました。えるばし認定は、目指していたわけではなくて、これまでの取り組みが当てはまりました。

Q 育休についてはどのように考えていますか？

会社としては、今の時代は個人の事情等を容認しながら経営していくしかないのかなと思いますね。公共事業という部分で仕事をしているので、地域に人がいなくなると公共事業も必要とされなくなる。子どもを産んで、しっかり育ててもらって、地域に人が残れば、会社も残っていくだろうなと感じるところがあります。

Q 建設現場で働く女性について何か感じることはありますか？

5年前頃から女性が現場で働くようになって、現場の雰囲気は非常に良くなったと思います。男性が荒い言葉を使わなくなったり（笑）。女性の場合は、結婚・出産・育児などのライフイベントによる生活の変化でハンディが出てしまうかもしれませんが、辞める理由ではないですね。復帰後、スキルや知識ををどう生かしていくかという事を考えれば、現場のサポート的な仕事など、女性が活躍する場を提供できるのではないかなと思っています。

子供が5人いてもフルタイムで働ける職場

Q 入社してみて感じたことはありますか？

夫が当社で働いており、働きやすいからと薦められて働き始めました。私は子供が5人いるので、仕事と家庭を両立できるか不安もありましたが、会社からたくさん支援をしていただけなのでフルタイムで働き続けることができるのだと感じています。

Q 働きやすさはどうですか？

周りの方がとても理解がありますし、近隣保育所の枠を確保しているなど、会社で子育ての支援をしてくださるのでとても働きやすいです。

Q これからの夢や目標はありますか？

資格を取得しようと勉強中です。また、自分の経験を活かして、女性の若手社員たちの支えとなる存在になれたらいいなと思っています。

花久 祥子さん

勤続年数：2年（2023年4月入社）
所属部署：総務部総務係
仕事内容：現場作業スタッフの労務関係、社員の健康診断の取りまとめ等



石津 侑香さん

勤続年数：2年（2023年6月入社）
所属部署：DX推進室
仕事内容：現場の書類業務、
データ作成等

現場のサポートに100%まわれるように

Q 建設ディレクターはどのような仕事をしているのですか？

設計や施工の効率化を図るためAR（完成イメージを実際の映像に重ねて確認できるもの）を導入していて、その3Dモデルの作成を行っているほか、現場技術者の時間外削減のため、書類作成を建設ディレクターが行っています。

Q どのようなところにやりがいを感じますか？

作成した3Dデータが現場でピタッと合った時はやりがいがあると感じます。

Q これからの夢や目標はありますか？

まだまだ土木の知識が不足しているところも多いので、早く技術や知識を身に付けて、現場のサポートに100%まわれるように頑張っていきたいです。



建設ディレクター

身体を動かす仕事がしたいと思い現場へ

Q どうして高堂建設へ入社しようと思いましたか？

私は普通科の高校を卒業しましたが、身体を動かす仕事がしたかったので現場の仕事がある高堂建設へ入社しました。入社後は1年間社員として専門学校へ通い勉強しました。

Q 女性の働きやすさはどうですか？困っていることはないですか？

ありません。寒いぐらいです。みんな優しいので楽しく仕事できています。

Q どのようなところにやりがいを感じますか？

日々新しい知識や技術、それと先輩や他の作業スタッフさんから教えてもらうことで、自分の成長が実感できてやりがいを感じます。



明るい笑顔に会話が弾み、若い従業員から会社への信頼を感じました。また、子育てをしながら仕事を続ける先輩の姿に、後に続く人たちが育っている様子も伝わりました。女性の働きやすい職場は男性にも同様に「持続可能な社会形成の基盤」と改めて思いました。

推進員 田沼 誠子

田中 藍さん

勤続年数：2年（2023年4月入社）
所属部署：土木部土木係
仕事内容：施工管理、測量等



1/31

女性活躍に関する男女共同参画講座を開催しました

2/18

「生き方多様化の時代を迎えて
～誰もが個性と能力を発揮できる職場とは～」

講師

稚内大谷高等学校
校長 平岡祥孝（ひらおか よしゆき）氏

地方の若い女性が首都圏へ流出し続けている実態や女性活躍を阻む要因などを、ジェンダーギャップ、出産・子育て、子どもの貧困の3つの視点から、統計データをもとに詳しくお話いただき、人口流出の歯止め政策や魅力あるまちづくりなどの環境整備が重要と参加者へ伝えました。講師のお話はとても興味深く、大変有意義な時間でした。



「輝く「個」をはぐくむために
～個と組織ができること～」

講師

十勝シティデザイン株式会社
代表取締役 坂口琴美（さかぐち ことみ）氏

講師のこれまでの取組や、ジェンダー平等について男女問わず考える大切さなど、写真・動画を多く用いてお話いただきました。講師の話に聞き入っており、若者・特に女性が活躍するために、どう環境を整えるのかなど、講座参加者からの質問が多く、貴重な学び・交流の時間になりました。



第23回「女(ひと)と男(ひと)の一行詩」入賞作品発表

最優秀賞

考え直そう 自分が思う 当たり前

及川 颯太さん（高校生）

優秀賞

家事・育児
ふたりでやるから
夫婦なの

蛇原 舞桜さん（高校生）

嫌じゃないの？
男子トイレは
個室じゃないこと

安孫子 佑実さん（中学生）

入選

家事分担
負担も愛も2人分

山加 美咲さん（一般）

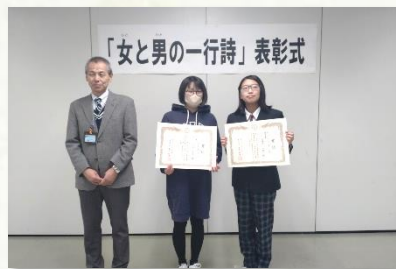
「やろうか？」より
「やるよ」と言ってほしい

川畑 心結さん（高校生）

男だから…。女のくせに…。
知らず知らずとられてる自分、
いなくなれ。

清水 智恵さん（一般）

応募があった536作品の中から、
一般投票と厳正なる審査を経て、
入賞6作品が決定しました！



表彰式に出席した優秀賞の安孫子さん(右)
入選の山加さん(中央) (左/下野選考委員)

講評 今年は中学生からも応募があり、斬新な視点からの作品で私たち選考委員も新たな気づきがありました。市民の皆様からも好評で、優秀賞に選出されています。「一行詩」という制約の中での表現ですから、作品によっては色々な解釈が生まれることもあります。今年の選考委員会でも、委員それぞれに色々な読み方があるものだと感じました。個々人の経験や男女共同参画に対する考えが作品の解釈に反映され、10人いれば10通りの受け止め方がありうるというのも一行詩の魅力ではないでしょうか。そんな女と男の一行詩も今年で23回目を迎えました。過去からの入賞作品を読んでいると、その時々世相を反映しながらも根底には一貫して男女共同参画への確かな思いが流れているのを感じます。そんな思いを乗せた一行詩たち、私たち市民のかけがえのない宝物としていつまでも輝き続けてくれることでしょう。

「女と男の一行詩」選考委員長 阪口 剛

推進員だより

帯広市男女共同参画推進員は、市民協働のパートナーとして、
帯広市と一緒に男女共同参画を広げるための活動をしています。



今回は遠藤
が担当です

「女性も土木現場へ」

私はカスタネットの企画編集に携わっています。今回、高堂建設さん取材して時代の流れを感じることができました。

新入社員を札幌の専門学校へ入学させて学ばせていたり、建設ディレクターという仕事だったり、女性には無理だと考えられていた土木現場ですが、希望すれば働くことができる時代になったことを嬉しく思いました。そういった女性の活躍を後押しする企業等がもっともっと増えていくことを願っています。

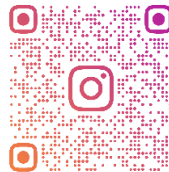


Instagram

帯広市市民活動課



市民活動や男女共同参画に関する
イベント、講座等の情報を随時
更新しています！



カスタネット 49号 令和7年3月発行

発行：帯広市 市民活動課 男女共同参画係 企画編集：帯広市男女共同参画推進員

所在地：〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1 電話：0155-65-4134



バックナンバーは
こちらのQRコードから
読むことができます